

## つくばみらいを！「食べよう」

谷和原公民館講座

谷和原公民館講座では、つくばみらい市の特産物である「トマト」や、日本の代表作物「米（米粉）」をとりあげた講座を開催しました。

つくばみらい市産のトマトを使った講座「トマトでトマト」では、野菜ソムリエの講師を迎え、数々のトマトの特徴・試食をし、「つくばみらい市産」のトマトの美味しさを再確認しながら、ドライトマトやジャム作りに挑戦しました。

また、米粉を使った講座「米粉の達人」では、米粉の特徴・使い方を学び、鳥のから揚げ、天ぷら、どら焼きなど幅広い料理を作りました。



▽「トマトでトマト」講座の様子

参加された皆さんは、身近な食材だけに、身を乗り出したりと、関心の高さが感じられました。そして、「お家でも取り入れてみます！」との声を聞くことができました。

※米粉に関しては、碎粉の問題上、市販の調理用米粉を使用しました。

## 届け、私たちの願い

市内各地で被災地を応援

東日本大震災の被災地・被災者を応援しようと、市内ではさまざまなイベントが行われました。



▽特別演奏会の様子



米粉はとてもヘルシーですよ！

7月10日には、小絹中学校（福田敏男校長）の吹奏楽部の皆さんが、「私たちは被災地を応援します！」と題し、特別演奏会を実施しました。演奏会には、地元の方々がたくさん訪れ、生徒たちの気迫のこもった演奏を聞き入っていました。

また、常陽銀行みらい平支店（吉田明浩支店長）では、小張小学校（直井修三校長）の3、4年生の、被災地へのメッセージを書いた短冊が飾られました。短冊には、「日本中のみんなが応援しています」「頑張って復旧してください」など、一人ひとり被災地へ向けたメッセージが書いてありました。

## 資源を大切に！

谷和原中学校で親子資源物回収

谷和原中学校（高橋秀光校長）で6月25日、生徒と保護者が参加し、資源物回収が行われました。

当日は、古新聞や雑誌、アルミ缶など、地域の皆さんの協力により、たくさん資源物を回収することができました。参加



▽資源物回収の様子

した生徒は「こんなにたくさん集まるとは思わなかった。たくさん集まってよかった」と話してくれました。

また、7月12日には、3年生の生徒会役員（写真左から本多満さん、寺田圭佑さん、藤田裕将さん、山田恵理夏さん）、高橋校長（写真右から2番目）、羽田和彦PTA会長（写真一番右）が市役所を訪れ、今回の資源物回収の収益金の一部を、東日本大震災の被災地へ届けて欲しいと、片庭市長に手渡ししました。お預かりした義援金は、日本赤十字社茨城県支部に送金いたしました。

